

あこう社協だより

新しい挑戦を応援しています！

3月は卒業される方が多くおられます。今月号の表紙と裏表紙には、4月から新たな生活となり、夢や目標に向かってスタートする方々に意気込みを書かせていただきました。新生活でのご活躍を心よりお祈りします。



赤穂高等学校全日制

はるな あみ
春名 杏美さん



はくほう会医療専門学校

ふじもと こうき
藤本 晃綺さん



高齢者大学塩屋学園

はしもと とよこ
橋本 豊子さん

始めよう！ボランティア
.....2P
令和8年度 ボランティア・
市民活動災害共済のご案内
.....3P
災害ボランティアセンター
開設訓練.....4P
まち発見！
あこう福祉ニュース.....5P
実習を終えて.....6P
新作レク用品紹介.....7P



関西福祉大学社会福祉学部

とのいそ みつる
外儀 充さん



赤穂特別支援学校高等部

たかもと りゅうや
高本 龍也さん



始めよう！ボランティア



「ボランティアって何をしたらいいかわからない」「自分には難しそう」と思う方がおられるかもしれませんが、ささいなきっかけや理由で始めている方もいます。今回は個人ボランティアとして活躍されている方をご紹介します！

空いた時間を有意義に！



みやた えり
宮田 恵里さん

Q. 今後について

A. 自分ができていることを、できる時に無理のない範囲で続けて行きたいです。今後は少しずつ、自分ができているボランティアの幅を広げていきたいと思っています。

普段は在宅でお仕事されている宮田さんにお話をお聞きしました！現在、買い物支援の運転ボランティア、絵本の読み聞かせをされています。

Q. ボランティア活動を始めたきっかけは？

A. 買い物や病院などに送迎する活動をしたと思っていた時、運転ボランティアの募集を見て始めたのがきっかけです。元々運転が好きなのと、空いている時間があつたこともあり、楽しく活動できています。

Q. 活動のやりがい

A. 送迎中に利用者の方が楽しく会話をされている時や嬉しそうな表情を見ると、やっていて良かったと思います。また、自分のできることが誰かの役に立っていると感じる時がやりがいになっています。



踏み出せ！ 新たな1歩を！



かわぎし ひろのり
川岸 博典さん

Q. 今後について

A. 仕事やプライベートの関係で、参加したくてもできない時があるのが少し残念ですが、参加できる時は今後も積極的に参加していきたいと思っています。

普段は福祉施設で働いている川岸さんにお話をお聞きしました！現在、介護特別食の配達ボランティア、おもちゃライブラリーのサポートをされています。

Q. ボランティア活動を始めたきっかけ

A. 元々ボランティアをしたいという気持ちがありました。ただ、仕事もありなかなか時間を作ることができなかつたのですが、30歳になった時に、「新しいことにチャレンジしてみよう」と決め、空いた時間に少しずつ始めることにしました。

Q. 活動のやりがい

A. 利用者さんからの「ありがとう」など感謝の言葉がやりがいになります。あとは、「自分って…意外と社交的なんだ」と知らない自分に気づくことができました。



今回ご紹介した2名の方以外にも、活躍されている方はたくさんいます。

「ボランティアしたいけど、どうしたらいい」「どんな活動があるの」など、ボランティアについてのご相談があればボランティアセンターにご連絡ください。ボランティアセンターは、「活動したい方」「依頼したい方」をつなぐ窓口です。お問合せ、ご相談おまちしています。

令和8年度 ボランティア・市民活動災害共済のご案内

ボランティア・市民活動災害共済（以下ボランティア保険）は、ボランティア活動中の事故によりボランティア自身がケガをしたり、他人に損害を与えてしまい損害賠償責任を負った場合に補償される保険です。

新年度のボランティア保険の加入受付は3月2日(月)より開始しています。

4月1日(水)からの加入を希望される場合は、3月31日(火)までに申し込みください。

年度途中からの加入もできますが、補償は手続きの翌日からとなります。

～令和8年度（令和7年4月1日以降）に加入された方へ～

令和8年（2026年）3月31日（火）で補償期間が終了します。

自動継続ではありませんので、4月1日（水）以降も加入を希望される際は、再度加入手続きをお願いします。

【市民活動災害共済プラン】（保険内容の一部） 補償期間 令和8年4月1日～令和9年3月31日まで

	保険金の種類	補償内容
傷害補償	死亡保険金	1,620万円
	入院保険金日額	9,000円
	手術保険金	①入院中の手術9万円 ②①以外の手術4.5万円
	通院保険金日額	4,200円
償責任補償	身体障害・財物損壊 人格権侵害	1事故につき 限度額5億円（免責金額なし）
見舞金	ボランティア共済死亡見舞金	給付金額10万円

掛金
1名につき
500円

赤穂市民の方は
半額助成が
受けられます。

【事故例】

- ①ボランティアでダンスを披露中に足を滑らせ転倒し打撲。（傷害補償）
- ②自転車でボランティア活動に向かう途中、歩行者にぶつかりケガをさせた。（賠償責任補償）
- ③相手の腕時計を壊してしまった。（賠償責任補償）
- ④ボランティア活動中に突然、心臓麻痺で亡くなった。（死亡見舞金）

○その他にも下記の保険の加入受付を行っています。

- ・ボランティア活動等行事用保険
→1日だけの行事や宿泊を伴う行事を行う際の補償に便利！
- ・ボランティア・市民活動災害共済（天災危険補償プラン）
→活動中の天災（地震・噴火・津波）によるケガも補償します！



申込・問合せは下記まで

◆赤穂点灯会 会員募集◆

40年以上にわたり、「広報あこう」「回覧広報」などの広報誌、新聞記事やカレンダー、時刻表など、生活に必要なものを点訳し、希望される視覚障がい者の方々へ届けています。

点字を学び、その技能を活かした点訳ボランティアとして、赤穂点灯会と一緒に活動してみませんか？

- 活動内容
- ・ 広報類の点訳
 - ・ 市内各学校への点字体験学習指導
 - ・ 例会 月2回（25日及び月末）
 - ・ 利用者さんとの交流会 など
- 問 合 せ 下記まで連絡ください



令和7年度 災害ボランティアセンター開設訓練

2月8日(日)、大規模災害を想定した災害ボランティアセンター開設訓練を実施し、79名が参加しました。災害ボランティアセンターは、“ボランティアの力を借りたい”という被災者の思いと、“被災者の力になりたい”という支援者の思いを繋ぎ、支援活動を行います。

訓練当日の様子



1. ボランティア受付

事前予約者・当日予約者の受付。ボランティア保険未加入者の加入手続き、名札の作成を行います。



2. オリエンテーション

被災者のプライバシー保護や活動中にケガをした時の対応などの説明をします。



3. マッチング

活動希望者とニーズのマッチングを行います。



6. 活動報告

活動状況や引継ぎ事項、活動継続の有無などの報告を受けます。



5. ボランティア活動

実際は、がれき除去や家具の片づけなどを行います。今回の訓練では、元灘ボランティアの霞末氏を講師に、研修会を行いました。



4. 活動先へ送り出し

グループ分けとリーダーの決定を行い、活動先へ送り出します。



7. 炊出し

終了後、赤穂市消費者協会が握ったおにぎりと、赤穂ボランティア協会が調理した豚汁をいただき、訓練は終了しました。

災害はいつ起きるか分かりません。自助として、防災バッグの準備は大切です。水、非常食、懐中電灯、予備バッテリーなどを入れておくと“もしも”の時に使うことができます。また、共助として、普段の生活からの近所付き合いが大切です。近所や地域の方々と助け合える環境を作っていきましょう。

“もしも”に備えて“今”できることをコツコツとしていきましょう。



まち発見！ あこう福祉ニュース



みんなで考える地域のこと

2月9日(月)、坂越地区まちづくり連絡協議会にて坂越地区懇談会が開催されました。「高齢化する中で、行事や地域のあり方を考える」をテーマに、自治会の組織や活動、まちづくり連絡協議会の行事などについて意見交換を行いました。(上段)

2月12日(木)、尾崎地区にて懇談会が開催され、各地区の自治会長、民生委員が情報共有や意見交換を行いました。「日頃のちょっとしたつながりづくりが大切」など各地区の状況や課題を踏まえてさまざまな意見が出て、会は盛り上がりしました。(下段)



“みんなで”と“楽しく”がキーワード

2月14日(土)、小地域福祉活動研修会を開催し、57名が参加しました。うね地区まちおこし隊による実践発表や一般社団法人シムズシーズ総合研究所の代表理事 柏木 登起氏からの講演を通じて、子どもから大人まで多世代を巻き込んだ取り組みの大切さや活動のヒントを学びました。



三世代で楽しみ、歴史に触れる

2月23日(月)、東有年自治会による「有年山城ふれあい探検」が開催されました。晴天のもと、有年の歴史にちなんだクイズや宝探しゲームなどもあり、子どもから大人まで交流しながら山登りを楽しみました。

『あこう福祉ニュース』にご協力ください!!

市内の地域や団体で、「こんな行事(取り組み)をするよ」などの情報を、ぜひ社協までご連絡ください。取材に行かせていただきます。



●問合せ・ご連絡は下記まで

実習を終えて

関西福祉大学の学生が1名、2月5日から19日の間、赤穂市社協にて社会福祉士の実習を行いました。

社会福祉学部 2回生 **上田 陽希** はるき

今回の実習ではサロンや地区別懇談会、おもちゃライブラリーなどの地域福祉事業や、災害ボランティアセンター開設訓練に参加することで、地域にあるニーズに対しどのような支援を行っているのか、どのように企画立案しているのかについて学ぶことができました。短い期間でしたが社協の方々をはじめ、活動でお世話になった皆様本当にありがとうございました。この実習で学んだ知識や経験をこれからの学習や活動に生かしていきます。



介護保険について考えよう！

ヘルパー編

● 生活援助

生活援助とは、利用者が日常生活を送る上で必要な家事をサポートするサービスです。具体的には以下のような内容があげられます。

- 掃除(日常生活上で普段使用する箇所 ※同居家族がある場合の掃除箇所は要相談です)
- 洗濯(洗い、干し、たたむ、収納など)
- 食事の準備(調理、配膳、片付けなど)
- 買い物(近隣のスーパー等で必要な食材や日用品など代行する)



生活援助は単なる家事代行ではありません。利用者が自分でできる事を続けながら、自立した生活を続けられるよう、必要な部分だけサポートする形が基本です。

貸衣裳室だより

『二十歳のつどい』貸衣裳利用について

令和9年1月開催に参加される方！まだまだ素敵な振袖が貴方を待っています♪

令和10年1月開催に参加される方！

【対象者】平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ

【振袖予約開始日】令和8年9月5日（土曜日）

ただいま下見・試着受付中！来館予約をお取りの上お越しく下さい♪

詳しくは貸衣裳室までお問い合わせ又はホームページ・SNSをご覧ください。

○連絡先 ☎42-1397（貸衣裳室まで）

貸衣裳事業の収益金は地域活動の貴重な財源となっています。



新しいレクリエーション用品のご紹介

ふれあい・いきいきサロンや自治会、子ども会などの活動の活性化や地域住民間交流を図るため、レクリエーション用品を無料で貸し出しています。貸出予約は、使用希望日の3カ月前から受付しています。

※個人的な貸出、営利目的や市外での使用はお断りしています。

ゲート&ボール(1セット)

年齢を問わずに楽しく体を動かすゲームです。

スティック6本・ゲート12個・ボール6個のセットなので、最大6人が同時プレー出来ます。

立っても座ってもプレー出来るので工夫次第で色々遊べます。



みんなで楽しめて盛り上がるレクリエーション用品を60種類以上用意していますので、詳しくは下記までお問合せください。また、ホームページでも一覧を掲載しています。

心配ごと相談所のご案内 及び内容変更について

弁護士相談は令和8年3月で終了し、カウンセラーによるこころの相談は月1回（第4水）の実施とさせていただきます。

【一般相談】 3月25日(水)
午後1時30分～4時

【弁護士相談】（前日まで要予約）
3月18日(水)

※利益相反となる場合、相談を受けられないことがあります。

【カウンセラーによるこころの相談】
（前日まで要予約）
3月25日(水)

◎弁護士相談とこころの相談は午後1時～5時
◎相談無料。下記までお問合せください。

ひきこもり家族のつどい

◆日時：3月26日(木)
午後1時～4時

申込不要

◆場所：みんなのいえ
（赤穂市塩屋656-17）

時間内
出入り自由

◆対象：ひきこもり状態にある方の家族
◆参加費：無料
◆問合せ：下記までお問合せください。

—あなたのやさしさを善意の窓口へ—

善意銀行だより

あたたかい善意をありがとうございました

預託状況（1月29日～2月25日受付分）

赤穂市善意銀行
マスコットキャラクター



●委任預託〈敬称略〉

住所	預託者	金額	預託内容
—	二宮 紀秀	1,000	福祉のために
塩屋	匿名	3,000	福祉のために
中広	総合福祉会館	4,397	善意の募金箱
—	匿名	—	—
さつき町	匿名	3,000	福祉のために

賛助会費ありがとうございました

（敬称略）

【個人】山本 吉広 岡田 勲 岡田喜美世

福祉の拠点をみんなで支えてください。

◆法人会費：5,000円 ◆一般会費：500円

◆個人会費：2,000円



赤穂高等学校全日制

よしもと たかと
吉本 貴翔さん



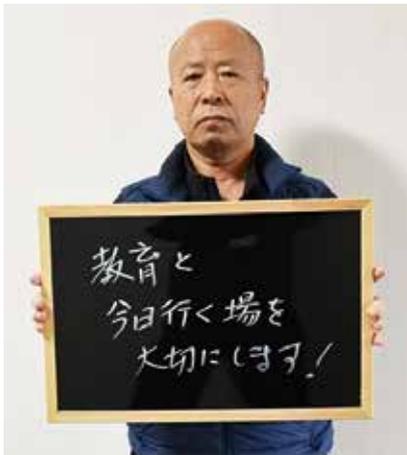
高齢者大学みさき学園

ちやたに ひでゆき
茶谷 秀幸さん



関西福祉大学教育学部

たきもと さや
瀧元 彩矢さん



高齢者大学尾崎学園

おおにし なおき
大西 直樹さん



はくほう会医療専門学校

うざき さき
鵜崎 佐希さん

これからの
時間が輝き
ますように

編集後記

今月号の表紙と裏表紙は、3月に卒業を迎え4月から新たな夢や目標に向かってスタートする方々に取材を行いました。不安なこともあるかもしれませんが、明るい気持ちでスタートを切っていただきたいです。ご協力ありがとうございました！ (や)

ご意見・問合せは

社会福祉法人 赤穂市社会福祉協議会

〒678-0232 赤穂市中広267番地
電話 0791-42-1397 FAX 0791-45-2444
E-mail ako-shakyo@ako-shakyo.jp

(音声版をホームページに掲載しています。ぜひお聞きください！)

ホームページ
公式SNSも
ご覧ください!



赤穂市社協

検索